

通信生徒の説明

下記は、通信コースで受講している生徒の教材や勉強の仕方の説明です。

▼住所シール

住所シールの上の方にある自分の住所が印刷されているシールは、作文用紙の1枚目にはってください。住所シールの下の方にある先生の住所が印刷されているシールは、封筒用紙にはってください。

▼封筒用紙（通信生のみ）

封筒用紙は手書きの作文を送る時の封筒になります。作文用紙を封筒用紙にはさみ、先生の住所シールをはり、まわりをセロテープなどでとめて、切手をはり、ポストに投函してください。封筒用紙1枚と作文用紙が1～4枚のときの郵送料は80円です。封筒用紙1枚と作文用紙5～10枚のときの郵送料は90円です。

▼作文用紙（通信生のみ）

幼中～小学2年生には240字詰、小学3年生～社会人には400字詰の作文用紙が入っています。

幼中～小学2年生で、400字詰の作文用紙に切り替える方はご連絡ください。作文用紙には、生徒コード・ページ・週・曜日・先生の名前を書いておいてください。作文用紙の「今読んでいる本」の欄には1週間の間に読んだ本のうち1冊を書いてください。「問題の正解数」の欄には長文問題の正解数を書いてください。「かかった時間」の欄には書き始めから書き終わりまでにかかった時間（分）を書いてください。清書はパソコンで書いたものをホームページから送信することもできます。「作文の丘」から送信するときに、週の部分で「4週」を選ぶと自動的に清書扱いになります。

▼再発行料金

課題フォルダやシールや用紙類の再発行を希望される場合の料金は次のとおりです。

課題フォルダ：525円 読解マラソン長文集：210円 暗唱長文集：210円 住所シール：157円
封筒用紙：10枚 157円 作文用紙：10枚 157円
課題フォルダはホームページの「峰の地図」でもごらんになれます。項目や住所の記載は、手書きでもかまいません。封筒用紙・作文用紙が不足した場合はコピーしてお使いください。市販のものでもかまいません。

各種用紙類は、学習の手引にPDFファイルとして載せていますので、それを印刷して使ってください。http://www.mori7.net/mori/gate.php

▼欠席や電話先変更をする場合は

欠席や電話先変更をする場合は、ホームページからご連絡ください。担当の先生のメールに直接連絡が行きます。http://www.mori7.net/outi/d/

連絡はお電話でも受け付けています。電話 0120-22-3987(045-830-1177) (9:00～20:00)

携帯で電話を受ける場合は有料です(1回262円。受講料と合わせて自動引き落としとなります)

教材の見方

▼振り替えをする場合は

遅刻や欠席をした分を、ほかの曜日や時間に振り替えて教室からの説明を聞くことができます。予約は必要ありませんので、平日9:00～19:50 土曜日9:00～11:50の範囲で、お子様が作文を書ける時間に直接お電話ください。電話 0120-22-3987(045-830-1177)。折り返し10分ほどでお電話を差し上げます。説明をするのは、担当の先生ではありません。(無料)
担当の講師と直接相談してその講師から別の日時に振替の授業を受ける場合、又は、担当の講師を指定して振替の授業を受ける場合は有料です(1回525円)

▼課題フォルダ

(1) 表(おもて)から1枚目の課題集・カレンダー
★印がその週の課題です。★印が二つある場合はどちらを選んでもかまいません。課題集は、授業のはじまる前までに見ておき、何を書くか決めておきましょう。小学1、2年生は自由な題名が中心です。小学3、4年生は、決められた題名が中心です。感想文の課題の場合は、その週の長文を読んでから先生の説明を聞くようにしましょう。小学5、6年生の課題は、難しいものが多いので、よく読んで似た話を見つけておきましょう。カレンダーには言葉の森の予定が載っています。授業のない日は、言葉の森新聞などでもお伝えしますが、カレンダーをよく見て確かめておいてください。
「授業の渚」で、その週の課題の解説が放送されています。http://www.mori7.com/nagisa/

(2) 課題集の裏に項目表
課題集の次のページに項目表があります。項目表の★印の項目ができるように作文を書いていきましょう。★印の項目が十分にできる人は、◎印の項目もできるようにしていきましょう。項目ができたところに、項目の説明又は項目のマークを書きましょう。清書のときは、項目の説明やマークは書きません。

(構成  題材  表現  主題 )

(3) 課題フォルダの中身
課題フォルダの前半には、週別の課題と解説と長文が載っています。その週の課題を見て、書くことを準備しておいてください。

▼オプション教材

(1) 暗唱用長文集
暗唱の自習をする人は、毎日10分間練習をしていきましょう。暗唱の仕方は、暗唱の手引に書いてあります。http://www.mori7.net/mori/mori/annsyoun.html

(2) 読解マラソン長文集
読解問題は、清書の週に時間が余ったときに取り組んでください。(ただし小1以上) 読解マラソン集は毎月第4週の読解問題のもとになる長文です。時間のあるときに読んでおきましょう。「高速聴読」で倍速の朗読を聴く練習ができます。http://www.mori7.com/nami/